

## 令和2年度宮城大学アカデミック・インターンシップ（オンライン）実施要領

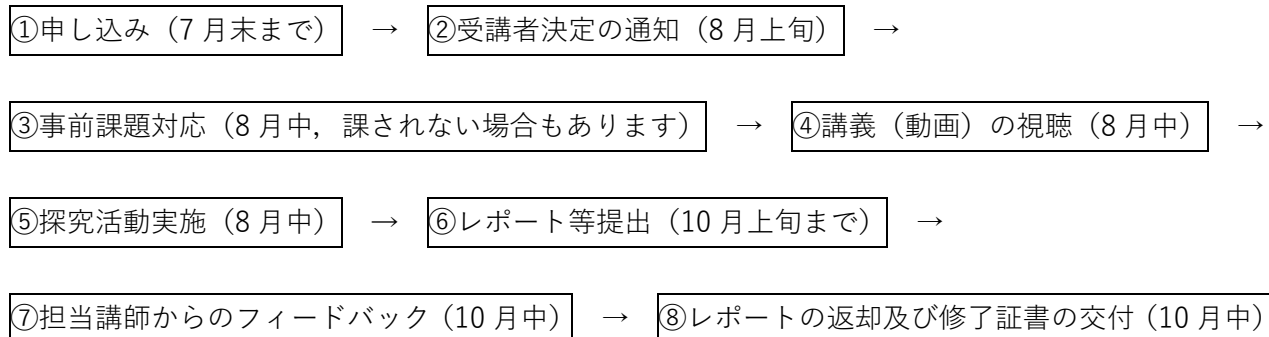
### 1. 目的

- (1) 高校生に「宮城大学での学び」に触れてもらい、「深い学び」について考えてもらう機会や自己の進路に対する目的意識を高めてもらう機会を提供します。
- (2) 宮城大学の授業を通じ、宮城大学で学ぶことの魅力や、学問の深さ・探究心を養ってもらう契機とします。

### 2. 日程及び具体的な流れ

2020年8月上旬から10月末までを予定しています。また、具体的な流れについては、以下及び

#### 6. 今後のスケジュール（予定）をご覧ください。



### 3. 募集対象

進路を定める準備段階にある高校2年生のうち、事前課題への取組み、講義（動画）の受講、レポートの提出が可能な意欲ある生徒を募集対象とします。

#### 4. 開講科目

【第1部】「探究活動に取り組むにあたって」

講 師 高大連携推進室長 笠原 紳（食産業学群教授）

※参加者の方は、全員視聴ください。

【第2部】（各学群 1～2 講座）

※以下の5つの講座から1つを選択し、受講します。

○基盤教育群（1 講座）

【基盤教育群】「英語で」「グローバル市民とは」について考えてみよう」

講 師 教授 ティモシー・フェラン（基盤教育群担当）

##### 【概要】

「何」をすれば「グローバル市民」になれるのでしょうか？この講座で取り上げる4つの条件は(1)自らの「アイデンティティ」をしっかりと持っていること、(2)「異質性に寛容」であること、(3)言葉を通じて他者と関係構築できること、(4)「教養人」であり、かつ「専門性」を持っていることです。これらについて簡単な「英語での講義」にchallengeしましょう。新しい英語の勉強方法が見つかるに違いない！

○看護学群（1 講座）

【看護学類】「疫学って何だろう」

講 師 准教授 萩原 潤（看護学類担当）

##### 【概要】

今年の3月以降コロナウイルス感染症（COVID-19）で休校や外出自粛など様々な影響を受けてきたのではないのでしょうか。このような大規模な対策は初めての人が多いと思いますが、これまでの歴史を振り返れば、我々人類はワクチンなどが開発される前から何度も感染症と闘ってきました。そのうち社会のルールで感染症を食い止めようという考え方があり、このベースとなる学問に「疫学」があります。この講義ではいくつかの事例を紹介しながら、感染症と人類の歴史を紹介し、今後の社会のありようを考えていきたいと思っています。

○事業構想学群（1 講座）

【事業構想学群】「事業構想（PROJECT DESIGN）の目指すもの」

講 師 教授 中田 千彦（事業構想学群担当）

【概要】

宮城大学の事業構想を英語で表すと Project Design という表記になります。プロジェクトをデザインするということになりますが、人智を駆使し、何かを創出させようとする行為そのものがまさにプロジェクトデザインと言えるでしょう。特に宮城大学ではビジネスのデザイン、社会のデザイン、空間や情報メディアのデザインの学類に分かれ「デザイン」という言葉の多義性を尊重しながら様々な取り組みを实践，研究しています。そのような未来志向の教育・研究の目指すものについて一緒に考えてみたいと思います。

○食産業学群（2 講座）

【食資源開発学類】「ミネラルー体の健康，土の健康ー」

講 師 教授 木村 和彦（食資源開発学類担当）

【概要】

ミネラルは栄養素のうち有機物以外のもので、カルシウムや鉄などは皆さんもよくご存知でしょう。人間が摂取するミネラルの多くは野菜など農産物に由来し、農地の状態を反映します。土の健康を保つことが我々の健康にも繋がります。そのために、適切に肥料を与えるなどの管理を行います。そのような内容の講義の後、植物などに含まれるミネラルなど様々な金属元素を質量分析装置で測定し、理解を深めます。

【フードマネジメント学類】「新型コロナウイルスは食（外食・中食）をどのように変えるのか！」

講 師 准教授 堀田 宗徳（フードマネジメント学類担当）

【概要】

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、従来の日常が一変し、密集，密接，密閉を避け「新しい生活様式」を模索することになりました。リモート授業など今までに無かった手法が各方面で試みられるようになり、また、消費者の外出自粛に伴い外食を中心に大きな影響を受けています。このような状況の中で食の世界は「新しい生活様式」に伴う「新しい食形態」を模索し始めています。本講義は、新型コロナウイルス発生後の食の現状と課題を整理し、今後の「新しい食形態」を検討します。

## 5. その他

- ・受講申込は、高等学校で取りまとめた上で申し込みを行ってください（個人申込は受け付けておりません）。なお、受講生自ら事前エントリーシートに受講理由を記入し、申込書と合わせて送付ください。
- ・受講を完了した方には、宮城大学から修了証書を交付します。
- ・講座に関する受講料は無料ですが、受講に係る通信費等は受講生の負担とします。
- ・通常のアカデミック・インターンシップの実施に当たっては、参加される高校生に生じた損害への対応として本学がイベント保険に加入して対応していました。しかし、今回のアカデミック・インターンシップ（オンライン）につきましては、従来のイベント保険が適用されないため、参加に起因して生じた損害については、本学として責任を負いかねますので、その点についてご了承の上、お申込みください。

## 6. 今後のスケジュール（予定）

<7月中旬頃>

各講座のテーマ・内容等の資料及び申込書を本学ホームページ等で周知します。

<7月31日（金）【申込期限】>

各高等学校で受講希望者を取りまとめの上、申込書及び参加者のエントリーシートを送付ください。

※高等学校単位での申し込みとなります。個人での申し込みは受け付けておりません。

<8月上旬頃>

申込人数を集計・確認後、受講決定の連絡をします。

また、応募者が多数の場合には、受講者数の調整をさせていただく場合があります。

講座によっては事前課題に対応していただくことがあります。

<8月中>

講義（動画）を本学ホームページへ掲載します。また、視聴の方法について、学校単位でPCをご用意いただくか、あるいは生徒個人が各々の端末を使うかは、各高校でご判断ください。

<10月9日（金）【レポート提出期限】>

各自本学ホームページより講義（動画）を視聴し、課題に基づいた活動の後にレポートを作成、提出してください。

レポートの提出は、メール又は郵送により行っていただきます。

<10月中>

提出されたレポートに、それぞれの担当講師がコメントを付して郵送にて返却します。また、修了証書も同時にお送りします。

活動全体のフィードバックについては、動画として掲載する予定です。